



▲相談体制の充実のためネットワーク会議開催



助村 千代子 議員

助村 児童相談所が対応した虐待の実態と、町の相談機関への相談件数は、子育て支援課長 児相に入所が19人町への相談は今年度が52件。

助村 相談・通報の情報は一元化されているのか

児童虐待

未然に防ぐ対策を

答弁…庁内連絡協議会で対処

子育て支援課長 当課で一括管理している。

助村 町で虐待防止の周知は「気づくためのチェック項目」等を入れ、住民にわかりやすくすべき。

子育て支援課長 検討する。

子宮頸がん予防積極的に

答弁…国の動行を見て検討

助村 子宮頸がんはほぼ100%予防できる唯一

のがん。現在行なわれている細胞検診にHPV検診の併用が有効であるが、健康課長 国のがん検診指針にない。併用検診は国県の動行を見て調査検討する。

助村 50歳を過ぎると子宮体がんのリスクが出てくるので、体がん予防の啓蒙も行ってほしい。

健康課長 特定健診の結果説明時に行っているが枠を広げて推進したい。

リーダーシップ

発揮されているのか

答弁：私も悩んでいる

丸山 粕屋地域が一体となってアピールできないか提案した。

近隣の首長にどう動かれたのか。

町長 粕屋郡の町長会で提案したが難しい。



丸山 真智子 議員

丸山 親水空間、ファミリーフアーム構想等の公約も実現していない。

町長 理想と現実のはざままで悩んでいる。

丸山 目標は抽象的でも政策の中身を具体的に実行するのが首長の役割だ。

学校の太陽光発電の導入、運動場での雨水一時貯留等の取組はされているのか。

学校教育課長 コスト面で問題がある。

丸山 県が進めているエコファミリー事業に取り組んだらどうか。

生活環境課長 取り組む。

【その他の質問】

●高齢者の虐待防止



▲職員に訓示する町長(12月28日)



▲しめブランド出店(アクロス広場にて福岡県町村フェア)



堤 久美子 議員

堤 誰もがまちを想っているはず。それを見える化すれば共働できる。ありがとう500選をスローガンに掲げて募集を。総務課長 できればすばらしいことと思う。住民の方々に試行的なことが

まちづくり

まちの見える化を図れ

答弁…今後検討する

できたら参考にする。

町長 公平、公正という観点を考え、方法、整備等について今後検討する。

堤 例えば、学校、家庭、ボランティア団体等でありがとうということを取り上げ、ホームページ等に掲載していくと、やさしい心豊かなまちになる。

進事業はどの段階か。

経営企画課長 農業体験は久山、粕屋に続いて23年度宇美町が開園。お宝百選プロジェクトを23年度展開。

堤 商工会を取り込むほうが活性すると思うが。

経営企画課長 商工会との相談、連携を積極的にやる。ガイド、ボランティアも広域で育成する。

町長の仕事

トップセールスへ転換

答弁：行動を起こしていく

牛房 町長の仕事は内向きから外向きへ転換すべきである。今、福岡・九州に百年に一度と言われる変化とチャンスが到来。空港の拡張、九州新幹線の開通、博多港に観光



牛房 良嗣 議員

船急増と、最隣接する志免町には陸海空にわたるビッグチャンス。

町長のトップセールスに期待をする。

町長 同じ考え。福岡市長、市議会などとしてしっかりと交流をしていく。

ビジネスチャンスが生まれている。

行動を起こして行かなければならない。

牛房 空港工事へ地元企業の参加、滑走路建設にボタ山の残土、宇美川の

川砂の活用、又福岡市席田・月隈地区との幼保小中学校の連携などは、トップでなければできない。

町長 地下鉄線などをどのように生かし、町の将来にどのように役立てていくのか、トップセールスが必要である。

いろいろな情報を収集し、粕屋地域としてプロジェクトが展開できるように頑張っていく。



▲変化とチャンスを活かせ 福岡空港問題